

## これからの小中学校についての意見交換会記録

【令和4年10月13日（木）北部多目的センター】

### 会の中での質問と回答

#### <質問①>

これまでの意見交換会で、統合については反対という意見があったと思うが、今回配布された資料には、現状維持という項目が入っていないが、統合ありきの中での案になっている点について説明してほしい。

#### <回答①>

今回提示した3つの案から決めなければいけないということではなく、現状で残していくことが、子どもたちにとっていいのかという視点で考えたときに、そこがどうなのかと我々は考えているということであり、現状維持の案がないわけではない。

#### <質問②>

コミュニティスクール、学校運営協議会というものがあり、国でも文科省でも掘り進んでやっていこうという形にあるが、湖西中や知波田小では統合の問題が協議会の中で掘り下げられていない。本来ならば、協議会の中でいろんな意見を出して教育委員会へ話を持っていく形ではないか。

#### <回答②>

学校運営協議会を持っている学校のことをコミュニティスクールといい、学校運営協議会委員がいて、その方たちが学校の運営について口を挟めるものである。コミュニティスクールの推進というのは、地域の方を学校に取り込み、地域の皆さんに学校に協力してもらおうというもの。地域を盛り上げるという意味ではなく、学校の中で地域の皆さんが子どもたちと触れ合っていたくものである。学校運営協議会で決定したことを教育委員会へ伝え、こうですよということではない。地域の声を拾えるのは運営協議会委員の皆様だと思うので、お願いしたいが、そこで決まっていくということでないことは、御理解いただきたい。

#### <質問③>

資料の1番目に、人口が減っていくから、住宅の緩和をしていけばいいのではないかと書かれているが、それに対して湖西市は何か行動をとったのか、教育委員会は何かしたのか。

#### <回答③>

人口増の施策に関しては、市役所各部の部長や課長が回答した通りである。教育委員会としては、学校、先生、教育方針、授業、施設など、魅力ある学校づく

りについて研究することである。その点では予算の部分で学校を支援してきたつもりであるが、十分でないところはあると思う。

<質問④>

前回の適正化検討委員会が行われた平成27年から令和3年度まで、教育委員会、各学校はどのような方針で、どういうふうに子どもたちを教育しようとやってきたのか教えていただきたい。

<回答④>

ここ数年、教育界が大きく変わってきた。例えば小学校で外国語、英語を教えるようになった、GIGAスクール構想で一人一台タブレットを持たせるようになった。学習指導要領が改訂され、小学校も中学校も新しい学習指導要領になり、それに伴って教科書も変わった。教科書の中にQRコードがあり、それを読み込むと画像が出てきたり、動画を視聴できたりするようになってきた。それに対応して、先生も勉強しなければいけないし、子どもたちに教える前に教材の研究をしなければいけない。学習の成果をどこで見るかという点では、全国学力学習状況調査等がある。小学校6年生、中学校3年生の保護者には結果をお渡ししており、ホームページにも載せてある。

もう一つ、教育委員会の取り組みとして、学びの基礎7つの取り組みというのがある。早寝早起きをしよう、朝ご飯を食べようなど7つの取り組みを挙げて、小学校、中学校へ入学するときにクリアファイルにして渡している。家庭にも話をして、子どもの学力は家庭の生活も影響することをお伝えしている。こういった取り組みを行い、一定程度の成果を得ていると考えている。

<質問⑤>

前回、北部地域に年間でどれくらいの予算を組んで、何をやったのか報告してほしいとお願いしたが、いかがか。

<回答⑤>

担当課で話をしたが、北部地域にいくら使ったかという点については、算出しがたいということである。湖西市全体ということであれば可能だが、地区ごとには算出できないと伺っている。

<質問⑥>

今の耐震の状態、存続して校舎として、あるいは統廃合して他の形で使う場合に、これから5年、10年、20年使うことができるのか。

<回答⑥>

耐震工事は終わっているもので、それは可能である。

<質問⑦>

前回、平成 29 年度に出した要望書と、その回答を紹介させていただいたが、その点について、提案いただきたいと言ったが、それについてはどうなっているか。

<回答⑦>

市全体で今取り組んでおり、道路について、家を建てることができないことについて、人口増加策についてなど、住民の皆様といっしょにという思いで進めているということである。

<質問⑧>

まちづくりに非常に関連しているので、一方的にやっていってもらっても困る。教育委員会だけの問題ではないことは、従来から言っている。教育委員会の提案は3案だが、私が考えている案は、8案ある。地域の枠組みを変えていく案を考えないとダメである。非常に問題であると考えているので、検討をお願いしたいがいかがか。

<回答⑧>

大変貴重な意見である。8案をお聞かせいただきたいと思う。市役所全体で進めていかなければいけないという点は、他会場での意見交換会でも出ているところで、関係各課と連携しながら進めたいと思っている。教育委員会だけでできる課題ではないと認識しているので、丁寧に対応していきたい。

**参加者からの意見**

<意見①>

子どもたちが安心して、いろんないい教育を受けられて、子育てがきちんとできるような市町になれば人口は増えるはずである。

<意見②>

なぜ勉強するのかということを、子どもたちに具体的に教えなくてはいけない。なぜ学ぶのか、それを教えなければ。今の便利な時代に、子どもたちはなぜ勉強していくのか、それを教えるのが教師である。

<意見③>

教育委員会が子どもの人数が減っていかないような環境づくりを提案する方向へ転換してほしい。こんな、統合するお金ばかりかかる話よりも、湖西市のために人を増やして、子どもを増やせば何の問題もない。これだけの率で子どもが減っていったら湖西市は破滅する。すごい危機である。子どもを育てやすい湖西

市にするという提案を教育委員会から発信してほしい。

<意見④>

入出の総合パイロット事業、3世代は住めるようにして欲しい、そうすれば少なくとも入出地区の人口は増えるからお願いしている。

<意見⑤>

地域の意見として、知波田小、東小があった方がいいという意見がある中で、あまりに強引に押し進めるならば、私が自治会をやっているときに付けた水道のスマートメーターを取り外してもらって、目視で水道料を見てもらうことにするという気持ちでいる。

<意見⑥>

平成29年度に市へ要望を出している。公共施設の複合化と学校の在り方、地域を尊重したコンパクトシティ、北部地区の過疎化対策と湖西市都市計画のマスタープラン、北部地区のインフラ整備、天浜線301号のバイパス構想、これら全部手付かずである。北部地区はどうでもいいよというふうにしかならない。

<意見⑦>

湖西中学校に一体化になった場合、中学校の校舎として建設されており、小学校の校舎ではない。文科省の整備指針では小学校は3階建てが望ましいとなっているので建て替えが必要になる。さらに、建築基準法で階段の蹴上げの基準をクリアしないとイケない。木造ではなく耐火工事もしてあるので、改造は簡単ではなく建て替えが必要になる可能性もある。

<意見⑧>

検討する中で、過去・現在・未来そこまで考えて、統廃合について考えなくてはならない。知波田小学校は150年の歴史がある。150年やってきて、ここへきてなぜこんな状況になったのか、そういう振り返り、分析が足りない。だから、こんな対策ばかりになる。新しい人が来ないような施策を打っているから来ない。そのあたりを十分考えて欲しい。コンパクトシティで街の方で隙間ができるからそこへ人をもっていく、コンパクトシティはそういう案である。それが間違っている。では、北部地域はどうかという話である。